

1 . 地域水田農業の改革の基本的な方向

(1) 地域農業の特性

地域協議会に属する岡崎市、幸田町は、愛知県のほぼ中央南東寄りに位置し、総面積444.02 k m²で、県土のおよそ 9%を占めている。(岡崎市387.24 k m² , 幸田町56.78 k m²)

交通の便が良く、三大都市のひとつである名古屋市圏内にあり、東名高速道路、国道1号線、23号線、南北に248号線が通り、これら主要国道から縦横に主要地方道が整備されている。名古屋市へおよそ40 kmと近く、東京と大阪のほぼ中央に位置し、管内にも消費地を抱えるなど、恵まれた市場条件下にある。また、将来の高速道路体系の中核となる第2東名高速道路の建設が進み、額田南西部にインターチェンジが開設されることとなり、地域産業の活性化や農産物の有利販売等、流通面での期待も高まっている。

また、岡崎市西部を北から南に縦断する矢作川は、良質米や野菜を生産する貴重な水利源であるが、近年は恒常的な水不足となっている。

地域の気候は、総じて表日本式の温暖適雨な気候である。ただし、岡崎北東部及び額田地域は、海拔およそ50 ㍍から790 ㍍の間に位置し、標高差が大きい中山間地であり、昼夜の温度差が大きく、良食味米を生産できる。

水田の作物別利用状況をみると、平成18年度の作付面積は水稻1,854ha、麦804ha、大豆660haとなっており、平坦部の麦、大豆については、圃場の集団化、担い手への土地利用集積が進んでいる。しかし、排水不良や面積が小さいため、米以外の作付けが難しい中山間地では、不作付地が増えている。

(2) 作物振興及び水田利用の将来方向

依然として、米消費の減少が進む現状の中で、水田の基盤整備、担い手への土地利用集積、共同利用機械施設の拡充による生産コストの低減を図りながら、売れる米づくり、計画的な水田営農を行っていく必要がある。

水稻については、需要に応じた米の計画的生産という観点から消費動向にあった品種の選択、作付けの団地化、生産技術の向上等により良質米の生産に努める。特に売れる米づくりの視点から、額田産ミネアサヒ「たべりん」、特別栽培農産物「いきいき愛知」の作付拡大を図るとともに、消費拡大イベント等を行い、米等の消費拡大に努める。また管内で転作面積を融通し合うことで、中山間地は不作付けをなくして良食

味米を作る。平坦地は、団地化を進めて均質化した麦、大豆を安定的に作る。

麦については、ブロックローテーションによる団地化を継続しつつ、関係機関と連携し、実需者ニーズに応える良質麦の生産に努める。

大豆については、団地化の中で麦の後作として、土地利用率の向上を図るとともに、適切な乾燥調製を行い、品質の向上に努め、実需から要請のある早期出荷を推進し、需要先（加工販売業者）の新規開拓を進める。いずれの作物においても、品質向上の基本である種子更新率をアップさせる。

また、ＪＡあいち三河の下部組織であるＪＡあいち三河空散防除組合を活用した無人ヘリによる防除及びフェロモンとラップの利用による病害虫防除技術体系の充実を図り、水稻、麦、大豆等の産地育成を推進する。

なお、県の指定種子生産圃場として、水稻及び麦の優良種子生産も継続していく。

麦・大豆以外の生産振興作物としては、水田農業経営確立対策でも位置付けた〆縄用青刈稲、いちご（苗）のほか、飼料作物、レンゲ、自然薯、切花等の生産誘導を図る。また夏秋なす、平坦部を中心としたいちじく、中山間地を中心としたソバを、地域振興作物として位置付け、産地づくりに努める。

その他、米の計画的な生産調整を維持するために、ブロックローテーションに不向きな条件不利地域においても麦、大豆等の全作業受委託を推進し、また、水田の高度利用を図るため、２作作付を推進する。さらに、立地条件を活かした環境保全型農業の展開を図るための施策を講じて、消費者の求める地域特産物の地産地消を推進するため、地元農産物の学校給食への導入、消費宣伝、交流を促進し、食育及び消費拡大の推進を図る。

いずれの作物についても、トレーサビリティシステムを定着化し、安全、安心な農産物の生産に取り組むものとする。

(3) 担い手の明確化と育成の将来方向

原則として「品目横断的経営安定対策」の加入基準（水田経営面積 4ha（岡崎市 2.6ha）以上）を充足する認定農業者と、集落型経営体（水田経営面積 20ha（岡崎市 12.8ha）以上）とするが、将来的に 4ha（岡崎市 2.6ha）以上の経営が見込まれる個人及び地域振興作物の生産組織等、意欲的な農業者も包含する。担い手の育成方法としては、水稻の不耕起 V 溝直播等新技術の導入によるコスト低減・省力化を図り、作業効率を向上させると同時にＪＡの農地保有合理化事業を活用し、利用権設定等による利用集積の拡大を推進する。なお、水田農業構造改革交付金から一定の助成を行う。

また、平成 18 年 12 月 1 日に設立されたＪＡ出資法人「(株)アグリみかわ」と十分な連携を図り、後継者の見込まれない地域の耕作放棄地の拡大に歯止めをかけるとともに、地域の特性を活かした農業振興を図る。

2. 具体的な目標

(1) 作物作付けの現状及び目標

作付面積の現状

【現状（H14）】

（単位；ha）

| 作物名 | 品種名 | 岡崎市 | 幸田町 | 額田町 | 合計 |
|-----------------|---------|---------|-------|-------|---------|
| 水 稲 | コシヒカリ | 550.0 | 186.5 | | 736.5 |
| | 祭り晴 | 397.0 | 162.5 | | 559.5 |
| | あいちのかおり | 155.0 | 78.9 | | 233.9 |
| | ミネアサヒ | 120.0 | | 200.0 | 320.0 |
| | あさひの夢 | 15.0 | | | 15.0 |
| | その他 | 13.0 | 20.2 | | 33.2 |
| | 合計 | 1,250.0 | 448.1 | 200.0 | 1,898.1 |
| 小 麦 | 農林 61 号 | 628.0 | 210.4 | | 838.4 |
| | イワイノダイチ | | | | |
| | 合計 | 628.0 | 210.4 | | 838.4 |
| 大 豆 | フクユタカ | 530.0 | 159.6 | 14.0 | 703.6 |
| いちご(苗) (本圃) | とちおとめ | 8.0 | | | 8.0 |
| | | 11.5 | 13.5 | | 25.0 |
| しめ縄用 青刈稲 | 東海千本・黒穂 | 6.0 | | | 6.0 |
| 夏秋なす | 筑陽・黒陽 | 1.6 | 3.2 | 1.8 | 6.6 |
| いちじく | 栴井ドーフィン | 0.5 | 1.5 | | 2.0 |
| ソバ | | | | 10.0 | 10.0 |
| レ ン ゲ (地力増進) | | | | 51.0 | 51.0 |
| 飼料作物 | エン麦他 | | 20.0 | | 20.0 |
| 自然薯 | | | | 2.0 | 2.0 |
| 切花(きく) | | | | 0.8 | 0.8 |
| 合 計 | | 2,435.6 | 856.3 | 279.6 | 3,571.5 |

作付面積の目標

【目標(H22)】

(単位; ha)

| 作物名 | 品種名 | 岡崎地域 | 幸田地域 | 額田地域 | 合計 |
|----------------|---------|---------|-------|-------|---------|
| 水 稲 | コシヒカリ | 600.0 | 210.0 | | 810.0 |
| | 祭り晴 | | | | |
| | あいちのかおり | 262.0 | 120.0 | | 382.0 |
| | ミネアサヒ | 65.0 | | 230.0 | 295.0 |
| | あさひの夢 | 350.0 | 150.0 | | 500.0 |
| | その他 | 40.0 | 20.0 | | 60.0 |
| | 合計 | 1,317.0 | 500.0 | 230.0 | 2,047.0 |
| 小 麦 | 農林 61 号 | 360.0 | 96.0 | | 456.0 |
| | イワイノダイチ | 230.0 | 64.0 | | 294.0 |
| | 合計 | 590.0 | 160.0 | | 750.0 |
| 大 豆 | フクユタカ | 500.0 | 150.0 | 25.0 | 675.0 |
| いちご(苗) (本圃) | とちおとめ | 6.0 | | | 6.0 |
| | | 9.0 | 11.0 | | 20.0 |
| しめ縄用 青刈稲 | 東海千本・黒穂 | 6.0 | | | 6.0 |
| 夏秋なす | 筑陽 | 1.5 | 3.6 | 1.6 | 6.7 |
| いちじく | 栴井ドーフィン | 1.1 | 2.1 | | 3.2 |
| ソバ | | | | 20.0 | 20.0 |
| レンゲ | | 10.0 | | 20.0 | 30.0 |
| 飼料作物 | エン麦他 | | 15.0 | | 15.0 |
| 自然薯 | | | | 2.5 | 2.5 |
| 切花(きく) | | | | 1.5 | 1.5 |
| 合 計 | | 2,440.6 | 841.7 | 300.6 | 3,582.9 |

(2) 販売の現状及び目標

販売の現状

【現状 (H14)】

(単位; t)

| 作物名 | 品種名 | 岡崎市 | 幸田町 | 額田町 | 合計 |
|-------------|---------|---------------|-------|---------|---------------|
| 水 稲 | コシヒカリ | 1,127 | 385 | | 1,512 |
| | 祭り晴 | 858 | 336 | | 1,194 |
| | あいちのかおり | 371 | 228 | | 599 |
| | ミネアサヒ | 126 | | 207 | 333 |
| | あさひの夢 | 26 | | | 26 |
| | その他 | 6 | 1 | | 7 |
| | 合計 | 2,514 | 950 | 207 | 3,671 |
| 小 麦 | 農林 61 号 | 2,436 | 822 | | 3,258 |
| | イワイノダイチ | | | | |
| | 合計 | 2,436 | 822 | | 3,258 |
| 大 豆 | フクユタカ | 848 | 239 | 14 | 1,101 |
| いちご | とちおとめ | 603 | 580 | | 1,183 |
| しめ縄用 青刈稲 | 東海千本・黒穂 | しめ縄 70(万個) | | | しめ縄 70(万個) |
| 夏秋なす | 筑陽・黒陽 | 182 | 556 | 214 | 952 |
| いちじく | 榊井ドーフィン | | 3 | | 3 |
| ソバ | | | | 5 | 5 |
| レンゲ | | | | | |
| 飼料作物 | エン麦他 | | | | |
| 自然薯 | | | | 5 | 5 |
| 切花(きく) | | | | 178(千本) | 178(千本) |
| 合計 | | 6,583 | 3,150 | 445 | 10,178 |

しめ縄及び切花(きく)数量は合計に含まない。

販売数量は、農家自家消費分を除く。

販売の目標

【目標（H22）】

（単位；t）

| 作物名 | 品種名 | 岡崎地域 | 幸田地域 | 額田地域 | 合計 |
|-------------|---------|---------------|-------|---------|---------------|
| 水 稲 | コシヒカリ | 1,320 | 525 | | 1,845 |
| | 祭り晴 | | | | |
| | あいちのかおり | 663 | 283 | | 946 |
| | ミネアサヒ | 61 | | 245 | 306 |
| | あさひの夢 | 850 | 375 | | 1,225 |
| | その他 | 6 | | | 6 |
| | 合計 | 2,900 | 1,183 | 245 | 4,328 |
| 小 麦 | 農林 61 号 | 1,224 | 326 | | 1,550 |
| | イワイノダイチ | 782 | 218 | | 1,000 |
| | 合計 | 2,006 | 544 | | 2,550 |
| 大 豆 | フクユタカ | 750 | 225 | 23 | 998 |
| いちご | とちおとめ | 550 | 570 | | 1,120 |
| しめ縄用 青刈稲 | 東海千本・黒穂 | しめ縄 70(万個) | | | しめ縄 70(万個) |
| 夏秋なす | 筑陽 | 190 | 550 | 220 | 960 |
| いちじく | 榊井ドーフィン | 5 | 28 | | 33 |
| ソバ | | | | 7 | 7 |
| レンゲ | | | | | |
| 飼料作物 | エン麦他 | | | | |
| 自然薯 | | | | 5 | 5 |
| 切花(きく) | | | | 500(千本) | 500(千本) |
| 合 計 | | 6,401 | 3,100 | 500 | 10,001 |

しめ縄及び切花（きく）数量は合計に含まない。

販売数量は、農家自家消費分を除く。

(3) 担い手の明確化・育成及び担い手への土地利用集積の目標

担い手の要件

- (ア) あいち三河農協営農受託部会員
- (イ) 品目横断的経営安定対策加入（見込み）者
- (ウ) 地域振興作物等の生産者組織
- (エ) 協議会において、将来地域水田農業において必要な経営体であると認められたものは、面積の要件にかかわらずビジョン実現のための担い手として扱い、育成にあたる。

担い手への土地利用集積の目標

(上段：担い手への利用権設定水田面積

下段：地域の水稲作付面積)

(単位；ha)

| 地域名 | H17 | 目標(H22) |
|-----|---------|---------|
| 岡崎 | 481.7 | 658.5 |
| | 1,250.0 | 1,317.0 |
| 幸田 | 184.5 | 250.0 |
| | 448.4 | 500.0 |
| 額田 | 33.2 | 115.0 |
| | 186.0 | 230.0 |
| 合計 | 699.4 | 1,023.5 |
| | 1,884.4 | 2,047.0 |

3. 地域水田農業ビジョン実現のための手段

(1)水田農業構造改革交付金の活用方法

(単位；円 / 10a)

| 区分 | 要件 | 金額 | 備考 |
|-----------------|----------------------------|--------|--|
| 麦・大豆・飼料作物・ソバ | 団地内において担い手リスト登載者に作業委託(*) | 28,000 | 受託者は次ページの技術要件をクリアすること |
| 〃 | 上記の外 | 10,000 | |
| しめ縄用青刈稲 | 大門しめ縄組合員に作業委託 | 10,000 | |
| いちご(苗場) | J A あいち三河 いちご部会員に作業委託 | 10,000 | |
| 夏秋なす | J A あいち三河 夏秋なす部会員 | 10,000 | 部会員の規模拡大及び新規部会加入者に対し 50,000 円 / 10 a 助成 |
| いちご(本圃) いちじく | J A あいち三河 いちご、いちじく部会員 | | ・部会員の規模拡大及び新規部会加入者に対し、50,000 円 / 10 a 助成 |
| 自然薯 | J A あいち三河 自然薯部会員 常南自然じょ組合員 | 10,000 | 水田に新規作付し部会に加入した初年度に限り 50,000 円 / 10a 助成 |
| レンゲ | | 10,000 | |
| 景観作物 | | 10,000 | |
| 切花(きく) | JA 販売出荷対象水田 | 10,000 | |
| 豆類・野菜等 | | 5,000 | |
| その他事業 | 協議会承認のその他事業 | | その他事業内訳 別紙 1 |

(地域の特性等によって、該当しない区分がある。)

(*)出作地にて岡額地域以外の担い手農家が麦、大豆等を耕作した場合は、該当市町にて担い手リスト登載者であることを確認した上で、地権者に 28,000 円 / 10a の水田農業構造改革交付金を支払う。

(その他事業内訳 別紙1)

| 区 分 | 要件等 | 金 額 | 備 考 |
|--------------|------------------|--------------|--|
| 病虫害防除対策助成 | 大豆作 | 6,700,000 円 | ・無人ヘリによるハスモンヨトウ防除 ・面積による定額助成 670ha × @ 10,000 円(薬剤名:トレボンエアなど) |
| 病虫害防除対策助成 | 大豆作 | 1,340,000 円 | ・ハスモンヨトウ防除 ・面積による定額助成 670ha × @ 2,000 円(薬剤名:フェロディンなど) |
| 地産地消推進事業 | 振興作物等 | 5,161,000 円 | ・学校給食加工生産委託費等 |
| 病虫害防除対策助成 | 麦作 | 16,400,000 円 | ・無人ヘリによる赤かび病防除 ・面積による定額助成 820ha × @ 20,000 円(薬剤名:トップジン M ゾルなど) |
| 2作奨励助成(個人作付) | 利用集積団地内麦後大豆又は野菜等 | 100,000 円 | ・利用集積団地内麦収穫後に、個人大豆、野菜等作付けに対し、5,000 円 / 10 a 助成 |
| 2作奨励助成(飼料作物) | 担い手による飼料作物2作目 | 750,000 円 | ・担い手による飼料作物の2作目作付けに対し、5,000 円 / 10 a 助成 |
| 担い手への利用権設定助成 | 集落と受託部会のとりまとめによる | 630,000 円 | ・集落取りまとめによる利用権設定に対し、3,000 円 / 10 a 助成 |
| 利用集積形成対策加算 | 利用集積団地の設定協力者 | 5,550,000 円 | ・利用集積設定団地の設定協力農家に対し、3,000 円 / 10 a 助成 |
| 条件不利地域作付支援助成 | 麦・大豆・そば | 12,000,000 円 | ・水稻共済の収量等級 10 以下の条件不利地域における麦、大豆(麦あとは除く)、そば作付に対して助成(120ha × 10,000 円/10a) |
| 麦品質向上対策助成 | 麦作 | 31,596,000 円 | ・品質要件クリアした小麦の面積に対して助成(750ha × 6,000 円以内/10a) |
| 大豆安定供給対策助成 | 大豆作 | 25,800,000 円 | ・大豆の安定供給に資する契約栽培登録面積に対して助成(430ha × 6,000 円/10a) |
| 地域特例作物振興助成 | そば | 2,040,000 円 | ・地域振興作物として位置づけられている額田地域のそばを担い手が作付した場合に助成(17ha × 12,000 円/10a) |

(地域の特性等によって、該当しない区分がある。)

(2) 耕作者（担い手）への作業賃助成

| 区 分 | 要 件 | 金 額 | 備 考 |
|---------|------------------|-------------|-----|
| 麦・大豆 | 下記の 技術要件をクリアすること | 12,000円/10a | |
| そば | 下記の 技術要件をクリアすること | 12,000円/10a | |
| 飼料作物 | 下記の 技術要件をクリアすること | 12,000円/10a | |
| 大豆作付奨励金 | 下記の 技術要件をクリアすること | 3,000円/10a | |

1 上記区分「麦・大豆/そば」は、同一圃場で対象作物が2回以上作付けされた場合は、1回に限り交付するものとする。

2 管内の水田であれば、岡額地域以外の地権者に係る水田であっても、下記要件を満たせば耕作者（担い手）に交付できる。

(麦・大豆・そば・飼料作物の技術要件)

| 技術要件 | 麦 | 大豆 | そば | 飼料作物 | 備考 |
|-------------|----------------|----------------|------------|------|----------------------|
| 生産日誌の記帳 | | | | | |
| 土壌改良材の施用 | | | | | 麦大豆2作の場合は、麦作で施用すればよい |
| 病虫害防除 | | | | | 農業改良普及課の指導による |
| 種子の更新 | | | | () | |
| 高度共同調製施設の利用 | JA カントリーエレベーター | JA 大豆調製施設 1 | JA ライスセンター | | |

(は、作物別適用区分)

1 担い手所有の大豆調製施設においても特に認める。

(3)その他の事業の活用

集荷円滑化対策

水田農業構造改革対策の助成を受けようとする農業者は加入が条件です。

拠出単価；水稲作付面積あたり（1,500円 + 200円 / 10a）

稲作構造改革促進交付金

担い手以外の農家を対象とした、米価下落対策です。

農家の拠出金はありません。

品目横断的経営安定対策

担い手を対象とした、農業収入の減少ならびに価格の下落を補てんする対策です。

（担い手：「品目横断的経営安定対策」の加入基準（水田経営面積4ha（岡崎市2.6ha）以上）を充足する認定農業者と、集落型経営体（水田経営面積20ha（岡崎市12.8ha）以上）をいいます。）

拠出単価；品目ごとの「標準的収入×面積」の合計×10%×9割×1/4

(4)担い手の明確化

《リストは省略》

岡額地域水田農業推進協議会 組織図

